

A 国語科における育成をめざす「資質・能力」

育成をめざす「資質・能力」

◎ 言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現することを通して、国語に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす

- (1) 国語の特質について理解し適切に使うことができるようにする
- (2) 創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を豊かにし、人や社会とのかかわりの中で、言葉で自分の思いや考えを深めることができるようにする
- (3) 言葉を通じて伝え合い、言語文化や言語感覚を意識しながら、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う

※ 別添2-1「国語科において育成を目指す資質・能力の整理」(別添資料P.2)及び別添2-2「国語科における教育のイメージ」(別添資料P.3)より作成

(1) 知識・技能 (2) 思考力・判断力・表現力 (3) 学びに向かう力・人間性等

資質・能力を育成する学びの過程

国語科における学習活動は、言語による記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動を通じて行われる必要がある。

国語科では、一連の学習過程をスパイラルに繰り返すとともに、一つ一つの学習活動において資質・能力の育成に応じた言語活動を充実することが重要である。

国語科では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」のいずれの学習過程においても、「情報を編集・操作する力」、「新しい情報を、既に持っている知識や経験、感情に統合し構造化する力」、「新しい問いや仮説を立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力」を働かせることが重要であると示されています。



各学校で考えてみましょう

別添2-1「国語科において育成を目指す資質・能力の整理」を読んで具体的な単元目標の設定をしてみましょう

B 国語科における「見方・考え方」

「見方・考え方」

国語科においては、「認識から思考へ」という過程の中で働く理解するための力や「思考から表現へ」という過程の中で働く表現するための力が、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の中でどこに重点的に働いているのかを考えることが重要です。そのため、国語科は、言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象とする特質を持っています。国語科における「見方・考え方」は「言葉による見方・考え方」であるといえます。

【言葉による見方・考え方】

自分の思いや考えを深めるために、

対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉え、

その関係性を問い直して意味付けること

国語科の特質は、「様々な事物、経験、思い、考え等をどのように言葉で理解し、どのように言葉で表現するか」ということです。

つまり、言葉で考える方法を教え、言葉で考える能力を育成するものであるといえます。

なお、学びの過程において困難さを感じる児童・生徒への対応も必要です。



◇ 指導の工夫、手立ての例については、こちらまで 

[クリック](#)

各学校で考えてみましょう

- ▶ 「様々な事物、経験、思い、考え等を言葉で理解し、言葉で表現する」場面を想定して学習課題や学習活動を組織しましょう。

C 国語科における教育内容の改善・充実 ～科目構成の見直し～

現行科目

【共通必修科目】 **国語総合**



高等学校 国語科の科目

【選択科目】 **国語表現** **現代文 A** **現代文 B** **古典 A** **古典 B**

科目構成の見直し

高等学校の国語教育において、長年にわたり指摘されている課題

- ・教材の読み取りが指導の中心になることが多い
 - ・話し合いや論述などの「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の領域の学習が十分に行われていない
 - ・古典の学習について、日本人として大切にしてきた言語文化を積極的に享受して社会や自分との関わりの中でそれらを生かしていくという観点が弱い
- などの解決を図るため、科目構成が改められます。

改訂後

【共通必修科目】

現代の国語

- ◆ **実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目**
- ・目的に応じて多様な資料を収集・解釈し、根拠に基づいて論述する活動
- ・文学作品等を読んで、構成や展開、優れた表現などの効果について言葉の意味や働きに着目して批評する活動
- ・根拠を持って議論し互いの立場や意見を認めながら集団としての結論をまとめる活動等を重視する

【論理国語】

【文学国語】

【国語表現】

【選択科目】

言語文化

- ◆ **上代（万葉集の歌が詠まれた時代）から近現代につながる我が国の言語文化への理解を深める科目**
- ・我が国の言語文化を理解し、自身の言語による諸活動に生かす能力の育成
- ・古典に関わる近現代の文章を通じて、言語文化を社会や自分との関わりの中で生かすことのできる能力の育成

【古典探究】